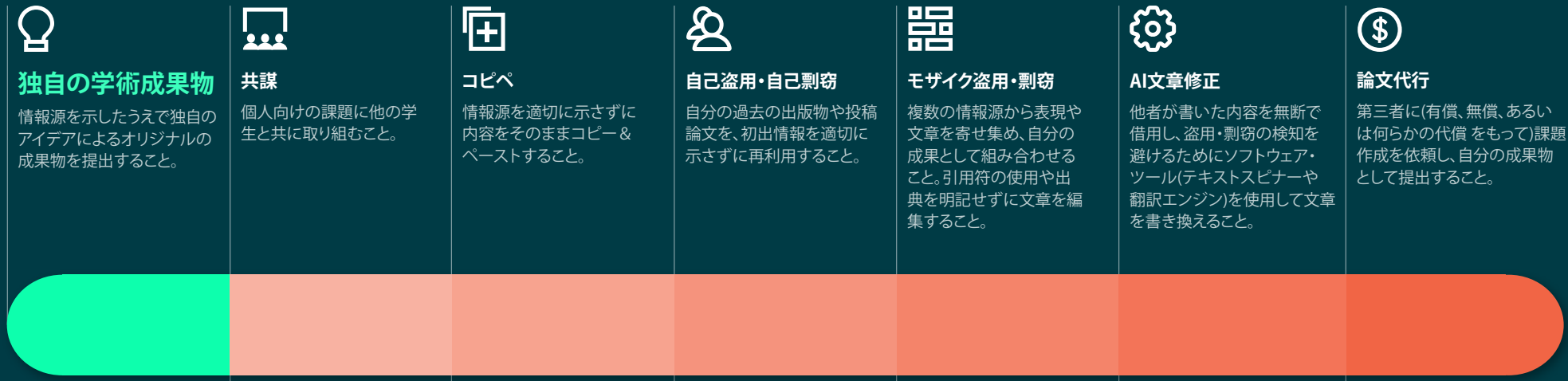
盗用・剽窃
Spectrum 2.0

turnitin™

盗用・剽窃の典型例から新たな傾向まで12タイプを理解することで、
学生の「自分で考える力」を育み、独自の学術成果を支援しましょう。



独自の学術成果物

情報源を示したうえで独自のアイデアによるオリジナルの成果物を提出すること。

共謀

個人向けの課題に他の学生と共に取り組むこと。

コピペ

情報源を適切に示さずに内容をそのままコピー＆ペーストすること。

自己盗用・自己剽窃

自分の過去の出版物や投稿論文を、初出情報を適切に示さずに再利用すること。

モザイク盗用・剽窃

複数の情報源から表現や文章を寄せ集め、自分の成果として組み合わせること。引用符の使用や出典を明記せずに文章を編集すること。

AI文章修正

他者が書いた内容を無断で借用し、盗用・剽窃の検知を避けるためにソフトウェア・ツール(テキストスピナーや翻訳エンジン)を使用して文章を書き換えること。

論文代行

第三者に(有償、無償、あるいは何らかの代償 をもって)課題作成を依頼し、自分の成果物として提出すること。

不注意

適切な情報源の参照・引用を忘れたり、意図せず言い換えたりすること。

言い換え

情報源を適切に示さずに他者のアイデアを言い換えること。

ソースコード不正

元の製作者の許可なく、またその典拠も明示せずにソースコードをコピーあるいは改変すること。

出典不備

出典情報が不正確あるいは不完全で、その情報源を見つけられないこと。

手動文章修正

盗用・剽窃検知ソフトを欺くために文章を自分で書き換えること。

データ不正

データの偽造・ねつ造、あるいは他者の成果物の不適切な使用により、研究者や研究・教育機関、あるいは出版社の評判を毀損すること。

www.turnitin.com | ©2021 Turnitin, LLC. All rights reserved.